

新型コロナウイルス
感染予防に伴う臨時休業

四月六日（月）に規模を縮小して入学式、始業式を行い、十日（金）まで五日間は登校できましたが、四月十三日（月）から新型コロナウイルス感染防止に伴う臨時休業となりました。

その後、国及び県の状況を踏まえ、五月三十一日（日）まで臨時休業が延長となり（五月十五日現在）、五月十一日（月）からは、任意の分散登校が始まります。

感染の状況等により、様々な対応が求められ、保護者の皆様には大変なお手数、ご心配をおかけしております。今後の学校再開におけるお手数、ご心配をおかけましても、多くのご理解・ご協力をいただくかと存じますが、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



自学自習の力を高める「East-style（イーススタイル）」

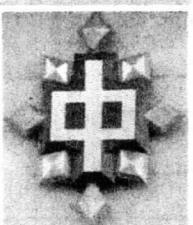
四月六日（月）に規模を縮小して入学式、始業式を行い、十日（金）まで五日間は登校できましたが、四月十三日（月）から新型コロナウイルス感染防止に伴う臨時休業となりました。

五月十一日（月）から始まった任意の分散登校では、「自学自習の力を高める」という長野市としてのねらいが示されており、本校では「East-style（イーススタイル）」と名付けて取り組んでおります。

その後、国及び県の状況を踏まえ、五月三十一日（日）まで臨時休業が延長となり（五月十五日現在）、五月十一日（月）からは、任意の分散登校が始まります。

感染の状況等により、様々な対応が求められ、保護者の皆様には大変なお手数、ご心配をおかけしております。今後の学校再開におけるお手数、ご心配をおかけましても、多くのご理解・ご協力をいただくかと存じますが、何卒よろしくお願ひいたします。

東部の中の子



第一週（十一日～十五日）は East-style1.0

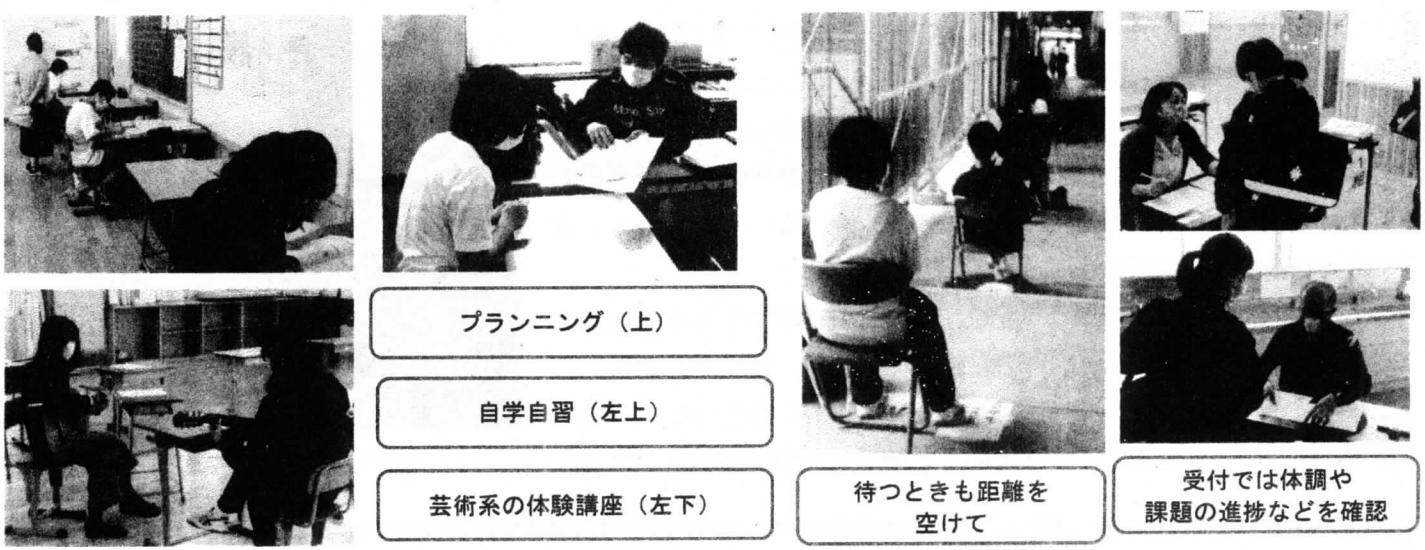
として、週に一回、一時間三十分の登校を設定しました。登校した生徒は、自分で立てた一週間学習計画をもとに、教員と面談し、計画の見直しや悩み事の相談をします。

（プランニング・三十分）その後、国社数理英の中から一教科を選択し、自学自習を進めます。パソコン教室や図書館も開放し、

教師は学習方法の助言や質問への対応をします。（自学自習・三十分）最後に、音美体技家等の芸術系教科の講座から一つを選択して活動します。（芸術系の講座・三十分）

参加した生徒からは、「久しぶりに体を動かして楽しかった」「計画をしつかり立てられたので、計画に沿って学習したい」「分からぬ問題を質問できてよかったです」等の感想が聞かれました。

五月十八日（月）からの第二週は、 East-style2.0として、登校数を一回から二回に、在校時間を一時間半から二時間半に、選択できる教科を一教科から二教科に増やして生徒の自学自習の力を高めるための支援を充実させるとともに、学校再開に向けて円滑な接続ができるようにしてまいりました。



Look East Project 2020

どんなこと
やってるの？その1

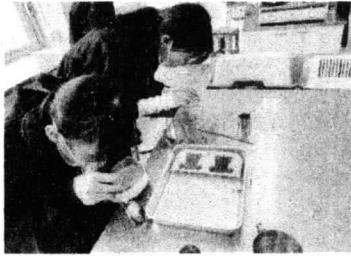
「地域とつながる・地域に広がる SDGs East Company」 (本年度の学校づくりの重点取組②)

本年度の重点取組②として「地域とつながる・地域に広がる SDGs East Company」を掲げています。

3学年の生徒が昨年度から学習してきた「持続可能な開発目標」=SDGs (Sustainable Development Goals)に基づき、生徒主体の組織「East Company(イースト カンパニー)」を立ち上げ、校内だけでなく、地域の皆様と連携して「誰一人取り残さない社会」の実現に向けて、様々な活動を展開していく計画です。具体的には、「農業（野菜づくり）」「ものづくり（石けん・マスク等）」「ボランティア」などいくつかの部門に分かれて活動し、地域貢献をしていくとともに、学校内外をつないで小さな経済活動を回していくというものです。新型コロナウィルス感染防止に伴い、十分な活動できない状況ではありますが、生徒と職員が共に知恵を絞りながら、できることに取り組んでまいりたいと考えております。ご理解ご協力をよろしくお願いします。



中庭を耕して畑に



手作り石けんに挑戦



手作りマスク

吉田地区住民自治協議会へ「手作りマスク・手作り石けん」を寄贈

5月13日（水）に吉田地区住民自治協議会を生徒会三役が訪問し、上述の East Company (イーストカンパニー) で制作したり、保護者の協力も得ながら在宅で制作したりした「手作りマスク」470枚と「手作り石けん」100個を寄贈しました。

生徒会長の倉嶋颯太さんは「SDGsの学習を進める中で、地域のために何かできることはできないかと考えて、手作りマスクと手作り石けんの寄贈に至った」と経緯を説明しました。副会長の徳間信太郎さんは「全校に呼びかけ、生徒、保護者、先生方の協力により470枚のマスクができた。感謝したい」と述べ、同じく副会長の坂本莉子さんは「日頃から中学生を温かく見守ってくださる地域の皆様に感謝したい。今は休校中だが、一日も早く再開され、地域の皆さんと通常の生活を送りたい。石けんは吉田の象徴でもある銀杏をイメージしてつくった」と地域への感謝の気持ちを述べました。

マスクと石けんを受け取っていただいた吉田地区住民自治協議会の副会長 井澤 靖 様からは「休校中で大変な中、有り難いお話。マスクは公民館や児童センター等で大切に使わせてもらいたい。今後も、地域と学校が協力していきたい」と感謝の言葉を頂戴しました。



手作りマスクと手作り石けんを寄贈